

**令和3年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
胃がん部会 概要**

- 1 日 時：令和4年1月24日(月) 13:30～15:00
 2 場 所：オンライン
 3 出席者：

	氏名	所属
委 員	吉田 和弘	岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野教授
	後藤 裕夫	岐阜赤十字病院放射線科
	鳥澤 英紀	岐阜県医師会 常務理事
	吉川 典子	ぎふ総合健診センター 診療放射線技師
	若山 美和子	市町村保健活動推進協議会保健師部会（海津市）
オブザーバー	氏平 高敏【欠席】	飛騨保健所 所長
事務局	赤尾 典子	保健医療課長兼健康推進室長
	森 稚加子	主幹兼がん・受動喫煙対策係長
	田口 未夏	技師
	成瀬 萌果	主事

4 内 容：

報告：1 令和2年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会胃がん部会議事

議事：2 岐阜県のがんの現状等

- ・ 初回診断時の進行度状況について、早期で発見される割合が平成26年から順調に増えていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響か早期で発見される割合が平成26年の数値に戻ってしまった。
- ・ 基本的な感染対策を行い、コロナ禍でのがん検診の必要性についてアピールしていくとともに、胃がんの死亡率が高いことを県民に対し引き続き訴えていく必要がある。

3 がんの予防（胃がん検診）の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

(2) がん検診マネジメント

- ・ 内視鏡検診について、精度が良いため今後も導入する市町村が増えていくと思われる。しかし、二重読影等の精度管理の実施状況は、市町村によって差がある。特に、複数の検診機関と契約している市町村は、検診機関とどのように連携し精度管理していくかが課題である。
- ・ 新たに ABC・ヘリコバクター抗体検査を開始する市町村が出てきたことから、今後も導入する市町村が増える可能性がある。ABC・ヘリコバクター抗体検査を行っている市町村へは個別通知により注意を促してきたが、今年度は改めて ABC・ヘリコバクター抗体検査は指針外であることを周知する意味で、全市町村に通知し徹底する。

(3) がん検診の受診率向上対策

- ・岐阜県は、診断時の早期がん割合が全国より低いことが課題であったが、当部会や市町村、検診機関の努力によって改善してきた。今回の新型コロナウイルス感染症の影響によって、以前の状態に逆戻りしてしまったが、関係機関が今までのように、努力を続けることで改善できると期待できる。改めて県民への啓発などを強化していくことが重要と言える。
- ・コロナ禍で厳しい状況下ではあるが、受診率向上に向け今できることをがん検診に関わる各関係機関がそれぞれ考え、取り組んでいくことが重要。

⇒ 上記協議結果について、市町村及び検診機関への通知を行い、フィードバックする。